

平成 3 1 年度 学校自己評価表 (実施段階)

学校運営計画 (4月)				評価 (3月)		
学校運営方針		「豊かな心や健やかな体の育成」「新しい学力観に立った学習指導の推進」「キャリア教育を活かした進路保障」「地域に密着した学校づくりの推進」を柱に、総合学科の特長を生かした教育内容を通して生徒一人一人の夢の実現に向け、必要となる確かな学力と豊かな人間性をはぐくみ、キャリア発達を促す学校教育を推進する。			A	
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標			
昨年度は、「新たな学び」の推進に努めるとともに地域との連携を深めることができた。本年度は、より地域に密着した学校づくりを進めながら、総合学科の特長を生かせるカリキュラムマネジメントや「主体的・対話的で深い学び」の推進に努め、キャリア教育をより組織的に展開することで、生徒一人一人の自己実現の達成を目指す。		豊かな心や健やかな体の育成	時を守り、場を清め、礼を正す生徒を保護者とともに育てる 自己有用感やコミュニケーション力を高め、他者を思いやり良好な人間関係が築ける生徒を育てる			
		新しい学力観に立った学習指導の推進	確実な学び直しを土台として学力を伸ばさせる 「主体的・対話的で深い学び」の推進と観点別評価の充実			
		キャリア教育を活かした進路保障	総合学科としてのキャリア教育を全教職員が共通理解のもと実践する キャリア教育を反映した自己実現100%達成を目指す			
		地域に密着した学校づくりの推進	全職員で本校の特長を共有し、その良さを地域に発信していく 生徒が志を持ち、地域や社会に貢献できる力を養う			
	具体的目標	具体的方策	評価	現状での主な課題		
学事推進 (学事部)	教務課	基礎学力の定着	出席率98.5%以上、出席皆勤者280名以上を目標とし、達成できるように努める。	A	A	・出席率自体は悪くないものの、遅刻者が少なくない状況なので、その改善にも努める必要がある。 ・出席皆勤者280名の目標が達成できなかったため、まずは1年次の段階で出席皆勤を目指す機運を醸成する必要がある。 ・来年度は各教室におけるICT機器の環境が格段に良くなるので、ICT機器の活用を更なる推進を推し進める必要がある。 ・生徒による授業アンケートの形態を工夫し、効果的な実施が図れるようにしていく必要がある。
		キャリア教育の充実	学び直しに力を入れ、基礎学力の向上を図るとともに単位未修得者0を目指す。 入学から卒業までの学校教育活動全体を見通した効果的なキャリア教育を確立させる。 本校の特色ある教育活動を活かし、生徒の希望進路100%実現を目指す。	A		
	情報図書課	ICT活用の推進	ICT環境を整備し、教職員が情報機器の取扱いしやすい体制を整える。	A		
		図書館利用者数の増加	情報セキュリティの強化を行い、情報機器の取扱いに関する共通理解を図る。 新着図書案内、図書館及びデジタル掲示板等、図書館からの案内を年10回以上行う。 生徒図書委員会の活動を充実することで、生徒の図書館利用者数を前年比10%増を目指す。 「主体的・対話的で深い学び」やICT活用による授業改善の取り組みを推進するための情報共有を図る。	A		
研究研修課	新しい学力観に立った基礎・基本の定着を目指した授業研究	生徒による授業アンケートの見直しとアンケート結果分析による授業改善を推進する。 新任者オリエンテーションを円滑に行うことで、本校についての共通理解のもと一日も早く業務等に慣れてもらう。 校内の実態に即した課題に対する効果的な校内研修を行うための体制の充実に努める。 教職員としての実践力をより向上させるため、校外研修への積極的な参加を促す。	B			
生徒育成 (生徒部)	生徒指導課	基本的生活習慣の確立	制服を爽やかに着こなし、清々しく挨拶する習慣の徹底を図る。 安易な遅刻・欠席をなくするとともに、授業規律を確立する。	B	A	・挨拶、風紀面ともに落ち着いてはいるが、継続的かつ一貫した指導を行う必要がある。 ・携帯の指導数は多く、基準の見直しが必要である。 ・登下校の状況が悪く、継続的な指導が必要である。
		安全教育の充実及び社会性の育成	登下校指導・安全教育を通して、自らが安全確保に努め、交通マナーの向上を図る。 人間関係形成能力を高め、場に応じた態度や行動選択ができる生徒を育てる。	B		
	保健課	情報の共有化と健康相談活動の充実	スクールカウンセラー、学校医、保護者と連携を密にし、心身共に健全な生徒の育成を目指す。 情報交換会や個別のケース会議を開き、個に応じた適切な支援ができる体制を目指す。 緊急時の連絡体制の周知と、速やかな応急手当による学校安全の強化を図る。 全職員の協力を得て、担当清掃区域の清掃指導、点検を確実に行う。	A		
進路探究 (進路部)	進路指導課	全生徒の進路希望の実現	課外授業の実施教科・科目を見直すとともに、面接等を通じて受講を奨励する。 各年次で模試やスタディーサポートの結果を分析し、生徒の面接指導に必要な資料を提供する。 進路ガイダンスや進路資料をさらに充実させ、進路情報の提供を強化する。 応募前職場見学を通して応募先とのミスマッチを防ぐとともに、望ましい勤労観の育成を図る。	A	A	・課外受講者が減少し続けている。就職課外受講者と未受講者との就職指導に対するギャップをいかに埋めるかを工夫する。 ・模試やスタディーサポートの受験体制を見直す。 ・「産業社会と人間」「ドリームリサーチ」が教科との連携により具体的な将来像を描けるよう工夫する。 ・「探究」の深化を図る。
	キャリア教育推進課	生徒が自己の将来をイメージできるキャリア教育の実践	卒業後の自分をイメージできるように体験型の取り組みを充実させる。 1年次は「産業社会と人間」を通して、進路選択に必要な力を学びとらせる。 2・3年次は「ドリームリサーチ」を通して、将来設計に必要な情報を主体的に収集できる生徒を育てる。 次年度に向けて、生徒にとって効果のある「総合的な探究の時間」となるよう準備をする。	B		
教育企画 (教育企画部)	庶務課	学校行事の円滑な実施	他の分掌と協力して学校行事を企画運営し、さらに良いものとなるよう改善していく。 月別行事予定に授業や課外の予定などを書き込んで、前もって準備できるようにする。	A	A	・職員室等の整理整頓を庶務課職員が率先する。 ・PTA総会の出席率向上のための方策を探る。 ・体験入学や学校説明会の更なる充実を図る。 ・中学生体験入学や学校案内の作成等に生徒を参画させることで、生徒の成長に繋げる。
		P T Aおよび同窓会活動の充実	P T A各種委員会を確実に開催できるように早めに案内する。 同窓会の活動をサポートし、生徒の学校生活をより良いものにしていく。	A		
	広報課	広報活動の充実	体験入学を充実させ、本校の魅力を効果的にアピールする。 スクールガイドを活用して総合学科の特長をより多くの中学生や保護者に伝える。 本校の教育活動やその特長を伝えるため、ホームページの充実を図る。 学校行事に合わせてホームページを月5回以上更新する。	A		
年次・学級経営	1年次	基本的生活習慣を身に付けさせる 基礎学力と学習習慣を身に付けさせる 豊かな人間性を高める態度の育成	時を守り、場を清め、礼を正す生活を徹底させる。安易な遅刻・欠席を無くす。 自己指導能力を身に付け、学力向上のための努力を惜しまない。 何事にもチャレンジし、最後まで諦めない素直な心と態度を育成する。	B	B	・保護者との連携を密に行う。 ・授業の充実及び課題提出の徹底。 ・生徒一人一人に対応した指導を心掛ける。 ・時間にゆとりを持った行動を実践させる。 ・各自の進路実現に必要な準備を促進させる。 ・自己管理(制御)力とリーダーシップを向上させる。 ・急な進路変更がないように未然に対処すること。 ・指導する側の生徒対応の温度差をなくすこと。 ・計画的に生徒に常に高い目標を設定すること。 ・老朽化に対応した修繕などでより良い環境作りを努める。
	2年次	基本的生活習慣の徹底 学力の向上および家庭学習の習慣化 身だしなみとマナーの徹底	生活リズムの安定と健康管理を徹底させ、時間的にゆとりを持った行動を促す。 宿題・課題による家庭学習を促進し、さらに個々の課題解決能力を育成する。 風紀を守る意識と思いやりのある心を育成する。挨拶・清掃を徹底する。	A		
	3年次	個に応じた進路選択とその実現 社会人として通用する規範意識の醸成 生徒個々の自己肯定感を高める	よい緊張感のある授業を実践し、個々の丁寧な進路相談から目標とする進路実現を果たす。 挨拶・清掃を徹底し、生徒が活力ある学校生活を送り、皆勤・精勤者を増やす雰囲気を作る。 何事にも全力で取り組むクラス作りを励み、最上級生としての自覚を育成する。	A		
学校事務	教育環境の整備	予算を適切に配分執行して、学校教育を推進する環境作りに努める。	A	A	A	